

第 158 号

平成16年(2004年)新年号

なは

市議会だより

平成16年(2004年)1月15日発行

那 覇 市 議 会

那 覇 市 泉 崎 1 丁 目 1 番 1 号

電 話 (098) 864-5600

<http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>



新春の宴・首里城



副議長 高里 鈴代



年頭のごあいさつ

「魅力あふれる県都・
那覇の創出」

平成16年(2004年)元旦



議 長 我那覇生隆

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた平成十六年(二〇〇四年)の新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は、国内外の社会情勢を反映した暗いニュースが多い年でありました。しかし、市民・県民が心から歓迎いたしましたこともございました。それは長年待ち望んでいました沖縄都市モノレール「ゆいレール」の開通であります。私たちに夢と希望を与えてくれた歴史的な出来事でありました。

その他、本市事業では、新都心銘苅庁舎と消防本部庁舎をはじめ、IT創造館、母子生活支援センター、精神障害者地域生活支援センターが完成し、さらなる市民福祉の向上が期待されるところでございます。

そして、私も市議会では、昨年、日米地位協定の改定の実現に関する意見書や三位一体の改革の実現に関する意見書を全会一致で可決し、国会及び関係省庁へ市民の皆様の声を強く訴えてまいりました。

さて、現在、市民の皆様から最も注目を集めている市町村合併問題は、今年、市町村間の協議が佳境を迎えることとなります。合併問題は本市の将来像を左右し、住民サービスにも多大な影響を及ぼす、極めて重要な問題であり、市民の皆様の声を広く聴き、百年の計を見据えた結論を見出すことができるよう、積極的に取り組んでいかねばならないと考えております。

二十一世紀の街づくりは、地方自治体は自らの未来を自ら決定し、自らの責任でつくり上げなければなりません。このような認識の下、県都としての魅力あふれる都市づくりのため、議員個々の資質を高め、山積する本市の課題解決に向けて、議員一丸となって全力を傾注していく所存でございます。

本年も、市民の皆様にとりまして、実り多いすばらしい年となりますよう心より祈念するとともに、本市への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

さて、現在、市民の皆様から最も注目を集めている市町村合併問題は、今年、市町村間の協議が佳境を迎えることとなります。合併問題は本市の将来像を左右し、住民サービスにも多大な影響を及ぼす、極めて重要な問題であり、市民の皆様の声を広く聴き、百年の計を見据えた結論を見出すことができるよう、積極的に取り組んでいかねばならないと考えております。

二十一世紀の街づくりは、地方自治体は自らの未来を自ら決定し、自らの責任でつくり上げなければなりません。このような認識の下、県都としての魅力あふれる都市づくりのため、議員個々の資質を高め、山積する本市の課題解決に向けて、議員一丸となって全力を傾注していく所存でございます。

本年も、市民の皆様にとりまして、実り多いすばらしい年となりますよう心より祈念するとともに、本市への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

さて、現在、市民の皆様から最も注目を集めている市町村合併問題は、今年、市町村間の協議が佳境を迎えることとなります。合併問題は本市の将来像を左右し、住民サービスにも多大な影響を及ぼす、極めて重要な問題であり、市民の皆様の声を広く聴き、百年の計を見据えた結論を見出すことができるよう、積極的に取り組んでいかねばならないと考えております。

年頭にあたって！

各会派の抱負

市民の会

那覇市民の皆様、輝かしい新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、私共『市民の会』の議会活動に對しまして、格別なるご理解とご指導を賜り心より御礼と感謝を申し上げます。本年も、私共『市民の会』は、県都・那覇市の繁栄と発展のため、諸課題解決に真正面から取り組んで参ります。

さて、昨年は、市民・県民の夢と期待を乗せて『沖縄都市モノレール』が開業いたしました。開業以来、連日大勢の皆様のご利用に支えられ、市民・県民の多くの方々が待ち望んでいたことを示すように、開業当初より、連日の乗降客数も、当初の見込みを上回って順調に推移しております。概ね順調な滑り出しではないかとの思いを抱いてるところであります。今後はコミュニティバスや、過去三回にわたって実施されたトランジットマイル実証実験の成果も取り入れ、モノレールを核としたまちづくりを展開し、交通体系の改善に取り組んで参ります。

また、平成十六年度実施計画においては、

- ①『子どもを守り育てる環境づくり』
- ②『市民の健康づくり』
- ③『循環型社会の構築』
- ④『雇用対策』の以上四項目が重点目標として掲げられております。

『子どもを守り育てる

環境づくり』への対応としましては、これまでの少子化対策を推進するとともに、今回新たに保護者が安心して仕事ができるよう、育児の援助を行う組織の設置であります『ファミリーサポートセンター設立事業』や、中学校の不登校生徒への対策のため、『生徒指導サポーター派遣事業』の実施が策定されております。

『市民の健康づくり』の推進については、従来から健康づくり教室などを実施されておりますが、特に、高齢者を対象として『高齢者筋力向上トレーニング事業』の実施が策定されております。

また、現在の保健センターは、老朽化のため建て替えが計画されておりますが、どのような施設のあり方が望ましいのか、基本計画の策定にあたっては、検討を重ねる作業において、市民の要望を反映させられるよう、努力してまいります。

『循環型社会の構築』については、一般廃棄物のリサイクル推進とともに、本市独自の取り組みとして、『住宅用太陽光発電導入事業』、『移動食器洗浄車レンタル事業』、『屋上緑化推進事業』などの実施が策定されておりますが、今後とも環境に関する意識啓発や、環境負荷の低減等引き続き環境行政の推進に取り組むこととなっております。

『雇用対策』について、本市では、従来から国・県の施策のほかに、『安

定的な雇用』を支援するため、本市独自の事業として、『雇用対策支援事業』、『那覇市若年者雇用安定化事業』などを実施しております。これらの事業のほかに、特に、若年者の雇用を支援するため、新規に『緊急雇用相談員配置事業』、『緊急高校生就職支援事業』の実施が策定されております。



唐真 弘安 亀島 賢優 仲村 善信 久高 友弘 山川 典二 政調会長 宮里 光雄 幹事長 屋良 栄作 会長 永山 盛廣

ます。

以上が平成十六年度実施計画の特色であります。が、国の三位一体の構造改革において、向こう三年間で、四兆円の補助金削減方針が決定され、既に平成十六年度において、一兆円の削減が示されております。必要性が認められながらも、財源確保の困難性や、国の三位一体の構造改革の実施に伴い、実現が困難と予測されることもございますが、私共『市民の会』は、翁長市長とともに、諸事業の実現を目指して全力で取り組み、市民の皆様の付託にこたえて参る決意でございます。

結びとなりましたが、市民各位にとりまして、本年も健康で輝かしい年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

市民・社社ネット

平和への願いと希望を抱き、二〇〇四年の新春を迎えました。市民の皆様には、昨年は、市民・社社ネットへの温かいご支援を頂き心から感謝申し上げます。

さて、今沖縄の米軍基地から在沖海兵隊が、日本から自衛隊がイラクへの出撃体制をとつています。二十世紀のおろかな戦争の時代から、戦争も核もない平和な二十一世紀にしようとの誓いがもろくも崩れはじめています。何としてもイラクへの自衛隊派兵を許さない

という闘いを強めていきます。

『会長の崎山嗣幸(社民)』は、今こそ世界に誇れる平和憲法九条を広く世界へ発信する重要な時期ととらえています。那覇市も、去る大戦の十・十空襲で焼け野原となり、廃墟の中から力強く那覇の街が形成されてきました。沖縄戦を体験した市民の心をうけて、再び戦争を繰り返さないために、平和憲法を活かし、米軍基地の撤去、軍事演習反対、有事法制反対等、平和行政の推進を強く求めていきます。

市営住宅の建替事業・健康づくり・環境問題等に積極的に取り組みます。

『副議長の高里鈴代(無所属)』は、二年間市民の様々な場に接する機会を通して感じることは、今年にはさらに市民の意見や提言が反映された、市民に開かれた議会になるよう議長と共に力を注ぎたいと思います。

『ごみ処理組合議長の仲本嘉公(社大)』は、沖縄の自然・地理的条件を活かし、観光に寄与し循環型社会と男女共同参画型社会を目指し共生社会の確立と少子・高齢化対策を図ります。

『議運副委員長の比嘉京子(社大)』は、市民の健康度をアップさせ、医療費の削減を推進します。そのためには検診率(現在16%)を高め、病気の予防、早期発見、早期治療が望まれます。生活習慣病が低年齢化し、長寿に赤信号が点つています。市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」健康長寿を目指します。数百億円の医療費削減は福祉や教育を豊かにします。

『幹事長の島田正博(無所属)』は、市政の情報公開を一層進めるため、行政行為の意思決定過程まで含めた情報の公開を求めていくと同時に、住基ネットの稼働に伴う個人情報保護の徹底を求めていきます。

『政調会長の玉城彰(無所属)』は、勤労者・生活者・社会的弱者を視点に据えて、行政の事業計画、執行に關して税金の無駄遣いを許さず、市民が必要とするものへの施策転換を求めていきます。このような立場から、IT(情報通信技術)を活かした行政サービスの促進、

二〇〇四年、新春を迎えるにあたり自民クラブ会派議員一同、心からお慶びを申し上げます。議会活動に對してのご理

自民クラブ



仲本 嘉公 中村 昌樹 高里 鈴代 比嘉 京子 政調会長兼会計長 玉城 彰 幹事長 島田 正博 副会長 国吉 真徳 会長 崎山 嗣幸

解とご支援に対し衷心より感謝申し上げます。これからも「どちらが正しいのか」を基本に邁進してまいります。

昨年、都市モノレール開通は市民・県民の期待を乗せて順調にスタートが出来ました。延伸問題や運営収支の問題点等不安はありますが、長い目での支援を頂き千六百億円と言われる交通渋滞による経済損失をこの鉄軌道の導入で緩和できるものと確信し、環境に優しい都市づくりを期待するものであります。

市町村合併は、各市町村が自らの自治を考へての結果であります。国家の財政の破綻を地方に押し付けての平成大合併であり、政府として基本的な大改革もない中で進めることが果たしているのか考えると、どうも不安であります。

国外に目を向けますと、北朝鮮や中東問題等そして自然災害が多発していることも危惧するものです。世界的に若者にも拡がるエイズや新型ウィルスSARSの世界的な感染ウィルス問題も感心を集めています。

国内では、経済や政治が大転換を余儀なくされている中で混沌とした社会構造になっていきます。軽犯罪の増加、青少年の犯罪の凶悪化、詐欺事件等市民の皆様を取り巻く多くの事件、事故が多発しています。いまこそ地域防犯の街づくりが市民



久高 将光



高里 良樹



我那覇生隆



當間 盛夫



宮國 恵徳



玉城 仁章



座覇 政為

に求められています。地域の連帯で健全な青少年育成を図り、安全は自ら守る決意が必要です。

「三位一体」のなかで、間違いなく国からの補助金が削減されます。三十年余、基地・公共工事・観光に依存している経済構造の改革が迫られています。私達は、もう一度自然保護と経済が一体である認識を持ち観光戦略づくりをする必要があります。

米軍基地の為に、財産

である海を埋め立てる、サンゴ礁を破壊しジュゴンを追いやり沖縄観光が破壊され、沖縄経済が沈没し沖縄の心が失われる事にならないように政治家として未来を真剣に考え、経済の論理、安全保障の論理だけではなく生き物を守るという優しさを示した時、本当の世界平和を創る事になるのではないのでしょうか。

県都那覇には、中心市街地の活性化、空港の沖合展開、少子化対策など多くの課題があります。これからも市民の皆様と「夢」を持って誇りある街づくりに頑張ってください。

公明党

明けましておめでとうございます。二〇〇四年の新春に当たり、市民の皆様には希望と決意に満ち満ちたすがすがしい元朝を迎えられたことと思います。謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は公明党那覇市議団の議会活動に對しまして、深いご理解と暖かいご支援を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は二十一世紀に入つて初めての衆議院選挙が行われました。保守中道、自公協力の統一候補として那覇を中心とする沖縄一区における白保台一氏の勝利を勝ち取らせ

ていただき、ご支援をいただきました多くの市民、支持者の皆様にあたたかまじ感謝と御礼を申し上げます。

さて、平和的解決を求めた国際世論の中で、米英による強硬なイラク攻撃は戦争終結後も国際社会に大きな波紋と論議を巻き起こしています。我が国においても復興支援の自衛隊の派遣について与野党激突の論戦がなされ、当市議会においても「戦闘状態にある」と言われているイラクへの自衛隊派遣は行わないよう求める意見書を全会一致で決議しました。先の悲惨な沖縄戦を体験した我が沖縄はどこよりも戦争の愚かさや平和の尊さを知り尽くしています。平和の確保とイラクにおける復興支援は国際社会の要請であり、日本もその要請に応える責務があります。しかしながら安全確保が保証されない現時点での自衛隊の派遣は国民的理解を得られていないと言え、政府は国民への説明責任を果たすとともに、「安全」であった場合でも、自衛隊派遣は慎重の上にも慎重を期すべきであります。

国内に目を転じれば地方分権のながれにともなつて、国から地方への補助金削減、税源移譲、地方交付税見直しを一体的に実施する「三位一体改革」は、本市においても、厳しい財政事情の中で、旺盛な行政需要と市民ニーズに応えるには、一層



喜舎場盛三



糸数 昌洋



大浜美早江



上原 章



翁長 俊英



大浜 安史



松田 義之

の行財政改革を迫られることとなります。翁長市長を先頭に「風格ある県都那覇市」を目指し、那覇市改革に取り組む姿勢は率直に評価します。

公明党那覇市議団は平成十六年度の予算編成に当たり、平和、雇用、教育、福祉、環境など、四十一項目の重点施策の予算要望を行いました。いずれも市民の強い要望に沿ったものであります。「大衆とともに」の原点に徹し、「まじめに働く

日本共産党

新年あけましておめでとうございます。

市民の願いと夢を乗せてモノレールが開通しました。みなさんともに喜びたいと思います。

小泉内閣は、イラクへの自衛隊の派兵を決定しました。イラク全土が戦争状態というもとで、不法な軍事占領に加担するための憲法違反の戦地派兵そのものです。また、戦後初めて「憲法改正」を指示するなど、いま、日本の歴史にとって重要な岐路に立っています。

暮らしの問題でも、介護保険料の引き上げ、医療費や年金の改悪などが次々と強行され、生活も一段ときびしくなっています。那覇市では、全国平均より一・七倍高い介護保険料になり、国民年金保険料も支払うことができな市民が加入者の六二%にのぼるなど、いっそうきびしい状況にかかれています。

市民生活が大変なときだけに、市政は市民の生活をまもるためにがんば

らなければなりません。翁長市政は、さらに、追い討ちをかけるように、今でも、本島内で一番高い下水道料金を一四・六%も値上げを強行しました。一方で、十三億円かけてせっかく建設した伝統工芸館を、あらたに市単独の八億円をかけて移転させることや、「旭橋周辺再開発事業」に二十七億円の予算を決めるなど不要不急な事業に莫大な予算を投入しようとしています。また、平成十四年度に二十一億九千万円、十五年度に十億七千万円の地方交付税算定の見込み違いを行い、予算執行に大きなしわ寄せを生じさせています。

日本共産党市議団は、保守市政のもとでも、市民の暮らしを守る立場から、具体的提案を積極的に行いその実現にがんばってきました。小中学校へのクーラー設置事業、学校給食への琉球漆器の導入、認可園の増園、国保手帳の発給改善、不発弾処理時の市民負担の軽減、ペットボトルの無料回収などで大きな力を発揮してきました。

日本共産党市議団は、自衛隊のイラク派兵・憲法改悪に反対するとともに、平和と暮らしを守って今年も全力でがんばります。また、参院選挙、県議選挙での前進、十一月の那覇市長選挙での、革新市政の奪還に全力でがんばります。

みなさんのご健康とご多幸を祈念し、新年のご

清政クラブ

平成十五年八月四日清政クラブが結成されました。自民クラブより洲鎌忠・与儀清春、市民の会より高良幸勇・金城徹・知念博議員が参加しています。「潔い心で清い政を行う」を信条とし、心豊かな市民生活の向上と環境に優しい市政発展のため、一致協力し議員活動を展開していきます。

会長・洲鎌忠

三十一一年目。四常任委員会、三特別委員会、議会運営委員会を歴任したベテラン議員。特に日本防衛問題に精通し、豊富な知識と確かな情報存在。好きな煙草も止め、



我如古一郎



宮城 宜子



湧川 朝渉



渡久地 修



当真 嗣州

あいさついたします。

幹事長・金城徹

三期七年度。四常任委員会、三特別委員会、議会運営委員会を歴任した中堅議員。世話役である幹事長を快く引き受けた度量の大きい人。厳しい各派間の調整をスマートにこなしているところは正に議員向き。

政調会長・知念博

二期七年度。四常任委員会、二特別委員会、議会運営委員会を歴任。政調会長という初めての仕事を与えられ、真価を発揮できるかこれからが正念場。環境、教育、行財政改革に積極的に取り組んでいます。

高良幸勇

四期十五年目。四常任委員会、五特別委員会、議会運営委員会を歴任した超ベテラン。鋭い切り口で理路整然と捲し立てる攻撃力は、市長もたじたじ。歯に衣を着せぬ指摘や物言は益々絶好調。

与儀清春

二期七年度。三常任委員会、一特別委員会を歴任。現役の一級建築士で都市計画や土木、建築、都市管理行政では超ベテラン。空手マンでもあり、常に自らをも改革改造する万年爽やか青年です。

以上多士済々の精鋭五名議員は、青雲の志を持って、市民の立場で理論を戦い交わすことを誓い、議会に臨みます。

今年清政クラブの活動に特に注目し、ご声援とご意見を賜りますよう



大城 春吉

無所属

あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。

県都那覇市にとって何をなすべきか、何が必要か。また、三十万人余の市民が市政や行政に對し何を求めているらっしゃるか、常に姿勢を堅持し、山積する本市の課題解決に情熱と意欲をもって対処し、そして英知を結集して潤いのある社会を構築するために頑張ります。



高良 幸勇



与儀 清春



知念 博



金城 徹



洲鎌 忠

ご期待申し上げます。

12月定例会

十二月定例会は、十二月三日に開会され十七件の議案を可決・同意、平成十四年度の各会計決算を認定し二十二日閉会しました。

下水道料金を引き上げる「那覇市下水道条例の一部を改正する条例制定について」は反対討論(日本共産党)・賛成討論(清政クラブ・公明党)のあと採決がおこなわれ賛成多数で可決されました。

会議の概要

意見書・附帯決議を可決

十二月二十二日の最終本会議で、「戦闘状態にあると言われているイラクへの自衛隊派遣は行わないよう求める意見書」の提案があり全会一致で可決されました。また、

工事請負契約について(繁多川・真地・識名地区公民館・図書館(仮称)新築工事(建築))一般駐車場の確保を要望する附帯決議も全会一致で可決されました。

【代表・個人質問】

小中児童生徒の拉致防止・財政問題・下水道使用料問題等

十二月八日、九日は各会派を代表して代表質問が行われました。一日目は市民・社社ネットの代表が小中児童生徒の拉致防止について、平和行政について、市民の会の代表は財政問題、男女共同参画社会について、公明党の代表は雇用政策の状況及び成果について、子供達の居場所づくりについて当局の対応を質しました。

した。二日目は、自民クラブの代表が市長の政治姿勢、下水道使用料値上げについて、日本共産党の代表はイラクへの自衛隊派兵、年金制度について、清政クラブの代表は那覇市沿岸漁業協同組合員資格問題、職員給与等について当局を質しました。

教育福祉常任委員会

繁多川・真地・識名地区公民館、図書館の新築工事について、場所は周辺地域との高低差が激しく交通の便も悪いと言われており、施設利用者のための一般駐車場がないことについて質疑がありました。

【常任委員会の審査概要】

総務常任委員会

市有地売却処分について委員から賃借人に処分する場合と、第三者に処分する場合では土地評価に違いがあるべきである。今後は十分に検討するよう指摘がありました。

厚生経済常任委員会

水道料金についてメーター口径二〇ミリの基本料金一〇〇〇円を十三ミリの基本料金である九〇〇円に統一することで収入減となることに質疑がありました。

建設常任委員会

コミュニケーション緑化推進助成事業と公園里親制度や愛護団体について、また福州園の池への再生水と中水道との関係について質疑がありました。

代表質問

各会派の代表が市政をたずねる

小中児童生徒の拉致防止について



市民・社社ネット 仲本嘉公 議員

一、本年度、那覇署管内では八十七件にも及ぶ拉致・ワイセツ・不審者・声かけ・みせみせ事件が相次いでいる。登下校時の子供の安全を守る立場にある、教育委員会の現状把握とその対策はどうなっているか。危機管理マニュアルの作成、PTA、地域の方々が集まっている緊急集会等すぐに対応している学校もある。こういういい参考事例を即、全小中学校に対応させるべきではないか。

二、平成十三年九月の代表質問で、三年間で待機児童ゼロの実現は厳しいという答えがあった。計画的に措置し、整備計画を作ることで問題が解決するところがあるが、二年たつた状況と対応、財政も含めてどうなっているか。平成十七年度以降は予算がついていないと聞いているが、長期的な保育所整備計画をもつて対応すべきでは。

教育長及び関係部長

一、緊急PTA集会の開催、下校時間の校区内巡視パトロールの実施、防犯ポスターの作成など様々な実践事例の情報提供を行い、安全管理の徹底について通知をし、効果的な安全対策が図られるよう支援をしている。これからは、地域の見守り体制の強化が必要であり、努力していく。

二、これまで、認可保育所の創設、入所定員の見直し及び定員超過入所等の措置を講じ、入所待機状況の緩和に努めてきた。しかし、それを超える旺盛な保育需要があり、平成十六年度までに待機児童解消は困難である。本市としては、これまでの待機児童解消策を引き続き推進し、計画的に保育所の整備を進める。平成十七年度以降については、国の三位一体改革の状況をみながら、財政的につめていく。

平和行政について



市民・社社ネット 高里鈴代 議員

一、「グローバリゼーション・フォーラム二〇〇三」でゴルバチョフ氏、前マレーシア首相のマハティール氏共に、イラクへ単独攻撃を開始した米国の一国中心主義を、厳しく批判していた。米国の追随し、イラクへの自衛隊派遣が秒読み段階に



グローバルゼーション・フォーラム

ではなく、国連中心主義でしか問題解決はできないという討議の方向だったと認識をしている。一部パネリストから異なる意見が出されたこともあるが、私から主催者側に共同声明を出すことを働きかけることは予定してない。

二、①合併前の財政シミュレーションは、市町村が独自に作成したもので、今後、法定協議会へ移行した際に、新市建設計画の財政推計で活用することを考えており、合併後の財政シミュレーションは、構成市町村の枠組みに変更が生じ、その活用はできないと考えている。

②最新事例の収集や職員研修を行うなど調査研究を行っている。将来、法定合併協議会を設置した場合に、住民代表を参加させて検討したいと考えている。

成人式の取り組みについて



市民の会 屋良栄作 議員

一、二〇〇四年の成人の日について①本年一月の成人式の地域自主開催をどう評価しているか。②二〇〇四年成人式の地域の取り組み状況はどうなっているか。③今後の地域支援について伺う。

二、国は、平成十六年度を三位一体改革の実質的な初年度として位置づけ



平成14年度成人式

二、三位一体改革は、地方分権を推進し、地方公共団体の自立的、自主的な行政運営を推進する観点では望ましいが、財政基盤の脆弱な地方公共団体では、非常に厳しい財政運営をせざるを得なくなると思慮している。

その中で、生活保護費のカットを十五年度の予算で試算したところ、八億六千万円余り一般財源を振り替えなければならぬということで、ますます厳しくなると思っている。

三、①現在、県・那覇市・浦添市三者で合意形成されている。国土交通省国庫補助新規採択に向け、国に要請している。②今後の取り組みは、平成十六年四月一日に、組織体制を、那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合へ移管し、支障がないよう全力で取り組む。

男女共同参画社会について



市民の会 久高友弘 議員

一、ジェンダーフリーとは何か。それが那覇市の行っている男女平等教育に、どのように活用されているか。具体的な例と効果を問う。

二、第二次那覇市男女共同計画「なは男女平等推進プラン」(二〇〇三年発行)の三ページ、課題(十)の施策三十二に、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ意識の浸透」とある。具体的に説明していただきたい。

□関係部長

一、固定的な女らしさや男らしさにとらわれず、

Q&A
個人質問

市政のここが聞きたい

※紙面の都合上、質問順位とは異なります。

小規模作業所の法人化について

■島田正博議員(市民社)上
一、小規模作業所の法人化問題について年次的に数値目標をもっているか。国も推進しているのか、一番身近な那覇市が積極的に取り組むべきではないか。
二、県立多機能病院に精神科病棟が設置されることになったが、どのような認識か。

【助役及び関係部長】

一、現在策定中の障害者プラ

豊見城城址公園の閉園について

■唐真弘安議員(市民の会)

一、豊見城城址公園が、去る十一月末日をもって閉鎖されたが、閉鎖の理由が事業不振と新聞は報道している。同公園の利用者は那覇市民が多数を占めると評価しているが、市民福祉の見地から、または市長の立場から公園所有者である岩崎グループ代表者へ公園再開園への働き掛けを要望する。できるなら、豊見城市長

開南大通り整備と農連再開発について

■与儀清春議員(清政クラブ)

一、開南大通り街路整備についての今までの取組と計画及び農連市場地区市街地再開発事業の進捗状況について。
二、牧志壺屋線の進捗状況と全線開通時期について。

【市長、助役及び関係部長】

一、街路整備は農連市場再開発と一体的な整備を検討して

公共施設の民間委託について

■糸数昌洋議員(公明党)

一、地方自治法の改正で民間事業者による公共施設の管理運営が可能になったが、本市の認識と取り組みを問う。
二、明年四月より、児童手当の支給対象が小学校三年生まで拡大予定だが、本市の対象

とより、公共施設全体の管理のあり方を検討する。
二、支給対象が拡大されると対象児童は二四七五二人から

家庭ごみ有料化について

■宮間盛夫議員(自民クラブ)

一、①家庭ごみ有料化に伴う処理費用削減額と剰余金の使途。②事業系一般廃棄物値上げによる負担増月額と不法投棄への本市の対応について。
二、軽犯罪が増える中、地域の防犯をどの様に考えるか。
小緑金城地区の状況と交番設置への見解及び地域コミュニティ事業導入について。

【市長及び関係部長】

一、①現年度処理費用は対前年比で一億四千万円の削減となる。有料化に伴う歳入はごみ資源化等推進事業で活用。②事業所平均年増額は六千円。

図書行政について

■屋良栄作議員(市民の会)

昨年、図書館資料リサイクル事業実施要綱が本市の教育委員会で作られていた。その要綱に沿って、毎年余る図書をいろんな方向で放出、処分しているとのことだが、教育委員会が不用になった書籍や雑誌などを市立病院に渡し、患者とその家族が読書できるようにできないか。

母子生活支援施設の植栽、改修の計画について

■大浜安史議員(公明党)

一、母子生活支援センター「さくら」は、中庭の広場には植栽がなく、部屋を見るとコンクリート打ち放しの天井と壁であった。植栽、部屋の改修計画はないのか。
二、島堀町自治会館前の押しボタン式の信号機については六月議会でも取り上げたが、その後どうなったか。

三五七七二人に、対象世帯数は一四二四〇世帯から一八一七二世帯になると見込んでい



事業系ごみを搬入するバッカー車

不法投棄対応は万全を期す。

二、地域・警察・学校と行政が連携し一体となり取組む。

小緑金城地区は不審者による声かけが増加傾向にあり交番設置の必要性を認識している。コミュニティ事業は全市的な立場で検討選定する。

【関係部長】

教育委員会としては、実施要綱に基づき、病院等への書籍や雑誌等の配布について調整していきたい。市立病院としては、患者さんのための雑誌や絵本等の書籍類が少ないのが現状であり、待ち時間等の利用で、より良いサービスの向上につながるため、教育委員会と調整を図り、実施に向けて取り組んでいきたい。

【関係部長】

一、広場の植栽については、芝生の植栽に向け、本年度中に実施できるよう取り組んでおり、部屋の改修についても居室の壁の改修等年度内に改善できるよう進めていく。
二、この度信号機が設置され、十二月八日からは黄色点滅の運用が開始されている。十二月十九日には信号機の点灯式

と渡り初めを行う予定。

三原地域への集会所等の計画について

■中村昌樹議員(市民社)上

大石森公園への三原三丁目からの遊歩道工事がようやく着手されたが、この地域に公的施設や空間が少なく、地域コミュニティづくりに大きな障害がある。三原自治会・三丁目子供会等から強い要望がある、ポケットパークや集会所計画はどうなっているか。
少子高齢化社会の最たる地域にならないためにも必要ではないか。

【関係部長】

大石公園の三原則の公園計画では、遊歩道のほか、多目

平和通り等中心市街地の活性化について

■永山盛廣議員(市民の会)

一、希望ヶ丘公園の活用と各種イベントを催して人々の集う場所を作れないか。
二、希望ヶ丘公園に野外コンサート広場(ステージ付)を作れないか。

【関係部長】

一、希望ヶ丘公園に多目的広場が設置される予定となつて

宇栄原公園の建設について

■仲村善信議員(市民の会)

一、地域の人みんなが望んでいる宇栄原公園建設の進捗状況はどうなっているか。
二、宇栄原市営住宅はかなり古い。改築をしてもらいたい

【関係部長】

一、これまで用地買収等の難航により事業を二十年余中断してきたが、地域住民からの

エイズ対策について

■高良幸勇議員(清政クラブ)

一、那覇市のエイズ対策及び教育の現状はどうなっているか。市民の友での特集、授業



大石公園三原則整備予定地(写真奥)

的広場、東屋等の設置、花壇や菜園の整備をする予定になっている。集会所としての敷地の確保は可能だが、公園補助事業では建設できず予算的に厳しい状況である。

【関係部長】

一、希望ヶ丘公園の活用と各種イベントを催して人々の集う場所を作れないか。
二、希望ヶ丘公園に野外コンサート広場(ステージ付)を作れないか。

【関係部長】

一、希望ヶ丘公園に多目的広場が設置される予定となつて

環境行政について

■高里良樹議員(自民クラブ)

市が管理する公園、幼稚園、小中学校、波の上ビーチの砂場の衛生面、安全面について、①環境調査を行ったことがあるのか。あるのなら、どういう結果だったか。②直ちに砂場の異物を除去し、殺菌処理をする必要があると考えるが、当局の見解を伺う。

【関係部長】

①公園については、県環境

障害児教育について

■大浜美早江議員(公明党)

一、障害児教育について先進的な取組みをしている大阪府大東市の視察を終えての教育委員会の感想を伺う。
二、本市の教育行政にどのように反映させていくのか。

【教育長及び関係部長】

一、障害のある子どもの受け入れにあたって、全教職員の共通理解のもと、一丸となって受け入れ体制の整備に努力している大東市の障害児教育に感銘を受けた。
二、学校の職員研修のあり方



銘苅庁舎

は平成十二年度が九九・七億円、十三年が八二億円、十四年が八九・二億円(計一七〇・九億円)となり、リースバック方式の銘苅新庁舎・消防庁舎の建設費は二六・九億円となり全工事の九%を占める。

科学センターによる分析結果資料によると、砂一g当たりの大腸菌の数は二万個から百二十個とばらつきのある状況である。他については、これまで実施していない。②うがい、手洗い励行等の徹底、新しい砂の補給、危険物除去清掃等安全管理、環境整備に努める。

年金改革について

や学校職員の障害児教育に対する意識の高揚、障害児へのリハビリ等の受け入れのあり

方、個別指導カリキュラムの更なる充実等の課題を踏まえ、鋭意努力していく所存である。

■崎山嗣幸議員(市民社)ト

政府は、国民年金、厚生年金の保険料を引き上げ、年金給付の削減をしようとしている。一方で、年金積立金一四七兆円をグリーンピア問題で四千億円の欠損を出し、株式運用を五年間で五兆円の損失を出したといわれている。このことへの見解を伺う。

■関係部長

大幅な保険料の引き上げは、

老人医療について

■比嘉京子議員(市民社)ト

一、年間一人当たりの費用はいくらか。
二、老人医療費を引き下げるための計画を伺う。

■市長、助役及び関係部長

一、受給者の一部負担金も含んだ額で、八十七万七千七百七十六円である。
二、平成十六年度策定予定の

文化・産業行政について

■山川典二議員(市民の会)

音楽産業をはじめ本市の「文化あるいは感性の産業化」の重要拠点としてNABAぶんかテンプスを位置付け、ソフトメニューの集積を構築し、本市の産業発展に結びつけることができないか。見解を伺う。

■市長及び関係部長

本市としても施設を最大限に活用したハード面はもとより、プロモーションの強化や人材の確保、育成等、ソフト面の支援を構築する必要がある。

都市モノレールの安全対策について

■玉城彰議員(市民社)ト

去る十一月十三日、二十八

日に首里駅手前で分岐器(ポイント)故障によって、全線

で一時間以上運転が停止された。原因究明と今後の安全対策について伺う。

■関係部長

首里三十一号分岐器の駆動装置動力切り離し装置の滑りにより、動力伝達が不能になったことが原因であったとのことであり、現在装置の故障

大石公園及び長田西公園整備について

■翁長俊英議員(公明党)

一、大石公園整備について多くの墳墓が点在し、ウォーキング道路の活用や公園整備に支障をきたしているがその撤去と補償について問う。
遊具広場は水はけが悪く長雨になると水浸しになる。その整備を問う。

二、長田西公園整備について

トイレが無いため地域行事に支障をきたしている。早期の設置を望む。

■市長及び関係部長

一、所有不明の墳墓があり、財産管理人制度等の活用を考

自然環境保全について

■高里鈴代議員(市民社)ト

一、天然総合公園の整備の中で鳥獣生息地保護の観点から、遊歩道建設について見直しをどう検討されているか。
二、学校、公共施設公園等の建設、整備における市の総合的指針のあり方について伺う。

■市長及び助役

一、環境を保全する中で市民がどう関われるかということ

福祉のまちづくり条例について

■金城徹議員(清政クラブ)

一、映画館・レストラン等の民間の生活関連施設バリアフリー化は理念を振りかざすだけでなく市全体で取組むべき。新たな施策の検討を行ったか。
二、つくることのみに主眼の公園行政でなく、多様化する

原因についてメーカーに状況説明し、分析を行っている。故障後、「運送安全総点検実施計画」を作成、実施している。市としては、沖縄都市モノレール(株)に事故及び故障が起きないようにあらゆる手段を講じるよう要望している。



大石公園

慮し、早急に土地墳墓の取得及び補償に取組みたい。遊具広場は早急に排水状況を調査し整備する。

二、愛護会や地域の皆様の要望等を聞きながら検討する。

自然環境保全について

ろで議論をしているところで

あり、基本的に環境保全がベイスと考えていただきたい。

二、事業遂行にあたり、その事業についてチェックリストをつくり、関係部局と調整がつかなかった場合、テーマによつては副部長が中心となつて横断的に協議を進めていくことになるかと思う。

福祉のまちづくり条例について

市民ニーズに対応した公園の管理体制の強化等その取り組みを問う。

■市長及び関係部長

一、事業者にも多大な負担をかける。しかし既存施設の整備の必要性は十分認識している。本市が収集した整備情報をも

とに、施設管理者に整備の意義を訴え要請していく。
二、今年度は、公園管理室を設置し職員の増員等業務体制の強化を図っている。十二ヶ

資源循環型社会の構築とゼロエミッション化について

■仲本嘉公議員(市民社)ト

資源循環型社会の構築については、資源の再利用、リサイクルも含めて、産業を生み出さなければならぬ。北九州市は国の補助を受けながら二千鈔をもつエコタウン事業が展開されている。埋立工事、湿地帯等を利用して、那覇市でできるものを一つにまとめる事業体をつくるべきではないか。

母子生活支援施設について

■宮城宣子議員(日本共産党)

一、母子生活支援施設「さくら」の改善について、市長は、整備するように努力していきたいと答弁しているがどのような改善を図られたか。
二、たばこがどんなに悪いか、小学生から教えないでならぬ。学校現場での児童生徒への「たばこの害」教育についてはどうなっているか。

経済行政について

■洲鎌忠議員(清政クラブ)

一、公共事業地元優先注目の、県産品及び県内企業の優先使用・利用について、どう対応。また今後の対応を伺う。
二、自立経済に向けて、本市の取り組みと雇用拡大策についての見解を求め。

福祉のまちづくり条例について

■関係部長

一、地元建設業者育成、地域経済活性化、雇用確保等の観点から、地元企業優先発注方針を堅持し、継続して県産建設資材の優先活用を努める。
二、今年六月に「那覇市IT

教育行政について

■上原章議員(公明党)

一、明年実施計画にある、「生徒指導サポーター派遣事業」の目的と内容について伺う。
二、遊び非行型不登校生徒への対応のための教育支援室の設置目的と支援内容について

伺う。

■関係部長

一、不登校児童生徒の中で「遊び非行」不登校解消が急務と考える。具体的内容として、「個別カリキュラムによる教科学習」、「グループによる

市民会館等の使用料のあり方について

■知念博議員(清政クラブ)

一、市民会館、市民劇場においては、教育目的のために使用する場合でも三割の減額になるだけである。県内の他市町村では免除、七割減が当然だが、施行規則を改正し、免除すべきではないか。

図書館行政について

■我如古一郎議員(日本共産党)

一、繁多川の図書館建設で、基本設計に市民が利用できる駐車場がないのは不便であると思う。つくるべきではないか。対応と見解を問う。
二、市立小中学校創立記念事

ハンセン病元患者への市営住宅入居について

■座覇政為議員(自民クラブ)

一、患者への強制隔離政策は人権侵害や偏見を増長させた。本市はどの様に係わってきたか、その責任と対応について。
二、患者の社会復帰支援策として住居問題がある。県は県営住宅の優先入居を実施して

首里金城町の生活環境整備について

■渡久地修議員(日本共産党)

一、首里金城町の細街路の整備を急ぐ事。又、真玉道線(石畳)と沿線の下水道、露出水道管整備の具体的方針を急ぎ、二月議会までに示すべき。
二、文部科学省は、少人数学級を実施した場合、国庫負担



IT創造館

■関係部長

一、細部街路の整備は、着手できる所から整備し、真玉道線は、別ルートからの引き込み方法や景観に配慮した配管

スポーツ文化活動」等を考えている。

二、心性以外の不登校児童生徒への支援を目的とし、個別面接や学習支援、職場体験プログラム等の提供等を行っている。

討する。免除が望ましいという前提で考えていく。

二、商品の確実な供給や学校を支える地域の関係から、複数の業者を指定している状況だが、今後、再検討していく必要があると認識している。

業に補助金を出して欲しいとの声がある。見解を問う。

一、利用者の駐車場については、既存の公民館・図書館同様基本的なバス等での来館をお願いしているところである。

イベント開催時に、広場を臨時駐車場として開放することもある。計画敷地外への確保も考えられるが、財政状況から厳しいものがある。

ハンセン病元患者への市営住宅入居について

いるが、本市においては市営住宅入居の対応を伺う。

一、自治体においてもハンセン病政策推進の一端を担ってきたことから、昨年三月、市長が沖縄愛楽園を訪れた際に深い反省とお詫びの表明がな

二、本市では、優先的選考者として一次抽選のみを免除しているが、今後は県と同様優先入居の対応を検討する。

方法など、具体的な計画案を早期に作成していきたい。

二、市内全小学校一、二年生の三〇人学級編成によつて、必要となる加配教員数を計上し、県教育委員会へ平成十六年度実施を要請する。

戦闘状態にあると言われているイラクへの自衛隊派遣は行わないよう求める意見書

政府は12月9日、イラクへの自衛隊派遣の方針を閣議決定した。

当市議会は3月13日に「イラク問題の平和的解決に向けて国連並びに国際政治の場において、積極的に外交努力されること」を求めた「イラク問題の平和的解決を求める意見書」を全会一致で可決した。また、戦争開始直後の3月24日には「今回の武力攻撃に抗議するとともに、米国及び英国に対し、ただちに武力攻撃を終結し、国連憲章に基づく平和的な解決に力を尽くすよう求める」とした「イラクへの武力攻撃をただちに終結することを求める決議」を全会一致で可決したところである。

イラクでは、治安も悪化するなかで、連日のように米軍や英軍などへの襲撃が続くなど、まさに「泥沼」というべき戦闘状態になっている。

去る11月29日には、日本の大使館の職員が襲撃され殺害されるという痛ましい事件も発生した。どんな理由があれ、このような蛮行は断じて許されるものではない。この事件は、イラク全土がいまだに戦闘状態にあり、自衛隊の派遣を「非戦闘地域」に限るとした「イラク特措法」に照らしても重大な危惧が予想される。

このようななか、日本の自衛隊が派遣されるなら、米英の占領軍と一体とみなされ、テロなどを誘発し、自衛隊がイラク国民をも殺傷しかねず、逆に銃口を向けられ犠牲者が出ることにともなりかねないとの強い危惧の念を抱かざるを得ない。

イラクの復興は、あくまでも国連中心の枠組みのなかで行われるべきである。日本政府に求められている復興支援は、国連中心で、非軍事の分野の人道復興支援活動でなければならない。

よって、当市議会は、戦闘状態にあると言われているイラクへの自衛隊の派遣は行わないように強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。
平成15年(2003年) 12月22日

那覇市議会

工事請負契約について(繁多川・真地・識名地区公民館・図書館(仮称)新築工事(建築))に対する附帯決議

地域住民の長年の念願がかない、繁多川・真地・識名地区公民館・図書館が建設されることになった。その建設予定地は、識名宮に隣接し、敷地内には歴史的に価値のある神応寺の遺跡も発掘されるなど、教育環境としては申し分のない場所である。

しかし、同予定地は、周辺地域との高低差が激しく、交通の便も悪いと言われている。

本来、公共施設の建設にあたっては、地域住民の利便性・快適性を最優先して建築されるべきである。

今回明らかになった工事計画概要によると、駐車場は身体障害者用1台及び搬入車両用1台の計2台のみであり、施設利用者のための一般駐車場が全く確保されてなく、施設利用の大きな障害になることは明らかである。

については地域住民が、本施設を広く利用できるようにするため、一般駐車場を確保されるよう強く要望する。

以上、決議する。
平成15年(2003年) 12月22日

那覇市議会

十二月定例会で可決された主な議案

- ▶ 那覇市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ▶ 那覇市廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ▶ 那覇市下水道条例の一部を改正する条例制定について
- ▶ 那覇市水道給水条例の一部を改正する条例制定について
- ▶ 平成十五年那覇市一般会計補正予算
- ▶ 平成十五年那覇市土地区画整理事業特別会計補正予算
- ▶ 平成十五年那覇市下水道事業特別会計補正予算
- ▶ 平成十五年那覇市介護保険事業特別会計補正予算
- ▶ 平成十五年那覇市病院事業会計補正予算
- ▶ 平成十五年那覇市水道事業会計補正予算

十二月定例会で可決された意見書・決議

- ▶ 戦闘状態にあると言われているイラクへの自衛隊派遣は行わないよう求める意見書
- ▶ 工事請負契約について(繁多川・真地・識名地区公民館・図書館(仮称)新築工事(建築))に対する附帯決議

十一月臨時会

平成十五年十一月那覇市議会臨時会は十一月十八日に招集され、三日間の会期で開催されました。

初日は、「那覇市報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」をはじめとする六件の議案について当局が提案理由を説明し、質疑終了後、所管の総務常任委員会へ付託されました。

その後、車両物損事故をはじめとする三件の専決処分の報告と質疑が行なわれ散会しました。

本会議散会后、総務常任委員会において、付託された六件の議案の審査が行なわれました。

二日目の休会の後、最終日は、最初に総務常任委員長による六件の議案についての審査報告が行なわれました。

質疑終了後、所管の総務常任委員会へ付託されました。

その後、車両物損事故をはじめとする三件の専決処分の報告と質疑が行なわれ散会しました。

本会議散会后、総務常任委員会において、付託された六件の議案の審査が行なわれました。

二日目の休会の後、最終日は、最初に総務常任委員長による六件の議案についての審査報告が行なわれました。

人事議案

組合議会議員の選出

安慶田光男議員・前田政明議員・狩保信子議員の辞職に伴い、新たに次の組合議会議員の選出を行ないました。

南部広域市町村圏事務組合
崎山嗣幸議員
那覇港管理組合
那覇港管理組合
亀島賢優議員
那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合
渡久地修議員

▼人権擁護委員の推薦同意

委員六人の任期満了に伴い、新たに次の委員の推薦を同意しました。

平良 菊 高良ミチ子
島袋秀勝 喜納 兼功
宮里玲子 比嘉由美子

▼議会運営委員の選出

安慶田光男議員の辞職、また崎山嗣幸、山川典二両議員の辞任に伴う新たな委員に知念博議員、宮里光雄議員、屋良栄作議員が十二月八日付で選出されました。

九州市議会 事務局長会

去る十一月六日・七日の二日間の日程で、九州八十四市の事務局長が参加し、「九州市議会事務局長会」が那覇市で開催されました。

合併任意協解散

南風原町と南部三町村との法定協議会設置が決定された事に伴い、那覇市・南風原町・南部離島村任意協議会が十一月十四日付けで解散されました。

【十月】			他県からの行政視察		
27日	川尻町議会・芸南衛生組合議会	20人	18日	名張市議会	6人
27日	上越市議会	7人	18日	さいたま市議会	12人
28日	佐野市議会	2人	19日	下関市議会	5人
30日	豊栄市議会	2人	19日	厚木市議会	9人
【十一月】			20日	福岡市議会	14人
10日	豊川市議会	8人	20日	新潟市議会	7人
11日	相模原市議会	9人	20日	水戸市議会	3人
11日	福島市議会	4人	25日	岸和田市議会	3人
12日	大田区議会	12人	27日	大分市議会	1人
12日	津市議会	2人	【十二月】		
12日	浜北市議会	8人	10日	豊川市議会	8人
12日	三条市議会	8人	11日	相模原市議会	9人
13日	白河市議会	4人	11日	福島市議会	4人
13日	逗子市議会	9人	12日	大田区議会	12人
13日	横浜市議会	17人	12日	津市議会	2人
17日	名張市議会	6人	13日	浜北市議会	8人
17日	市原市議会	11人	13日	三条市議会	8人
【十二月】			13日	筑紫野市議会	5人
3日	議会運営委員会		14日	焼津市議会	3人
1日	十二月定例会		15日	新城市議会	9人
			15日	横浜市議会	13人
			15日	長崎市議会	3人

【十一月】			議会メモ		
14日	議会運営委員会		5日	議会運営委員会	
18日	十一月臨時会		8日	本会議(代表質問)	
	本会議(議案説明)		9日	本会議(代表質問)	
	聴取・質疑・委員		10日	本会議(個人質問)	
	会付託、専決処分		11日	本会議(個人質問)	
	の報告に対する質		12日	本会議(個人質問)	
	疑)		15日	本会議(個人質問)	
20日	本会議(委員長報			本会議(個人質問)	
25日	教育福祉常任委員			本会議(個人質問)	
26日	議会運営委員会			本会議(個人質問)	
1日	議会運営委員会			本会議(個人質問)	
3日	十二月定例会			本会議(個人質問)	
【十二月】			議会メモ		
5日	議会運営委員会		16日	四常任委員会	
8日	本会議(代表質問)		17日	四常任委員会	
9日	本会議(代表質問)		18日	四常任委員会	
10日	本会議(個人質問)		19日	四常任委員会	
11日	本会議(個人質問)		22日	本会議(委員長報	
12日	本会議(個人質問)			告・質疑・討論・	
13日	本会議(個人質問)			表決)	
14日	本会議(個人質問)				
15日	本会議(個人質問)				